

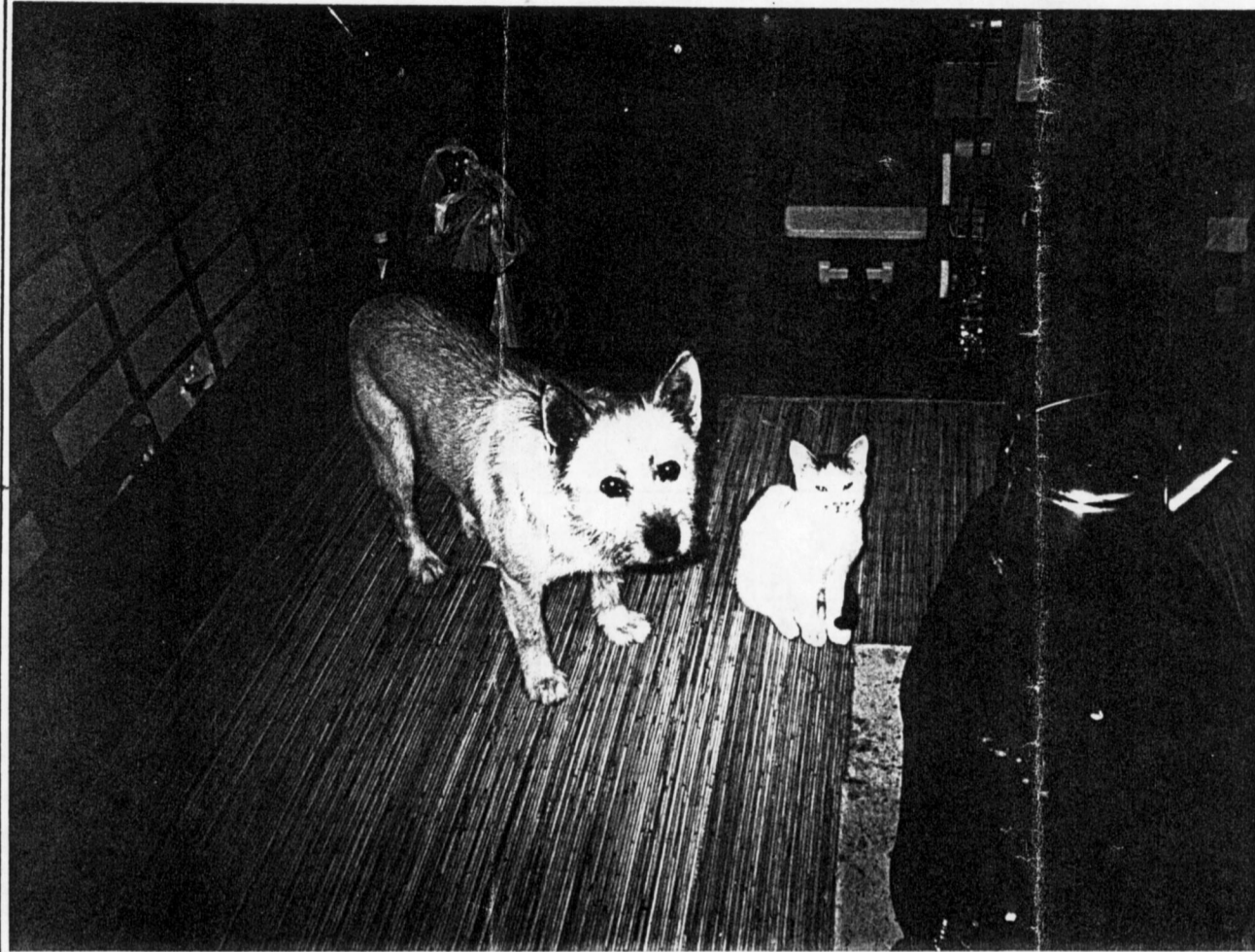
寺崎組新聞

発行所 寺崎組新聞社

塩之上上便り モク逝くー！ラモ失踪！

組長の愛犬であり、野宿犬としても勇名を轟かせた(ファンレターが来た事も有る)モクが、七月二十五日夕刻フェラリアによる肺炎の為、息を引き取った。享年、推定十二歳。その亡骸は早川の川原に於いて組長の手でねんごろに火葬されたらしい。(その間、脇で酒を食らって引っくり返っている

組長が目撃されたと言う)皆で冥福を祈ろう。尚、香典も大募集中とのことです。よろしくお願いいたします。
尋ね猫
組長の愛猫ラモが七月二十九日頃、家出したきり行方不明。推定年齢一歳二カ月、オス。心当たりの方はエッグまで御一報を。



チェンマイからの手紙

寺崎組みなさま、いかがお過ごしですか？ 日本を発つてからはや2ヶ月半。早いものです、ホントニ。一度風邪をひいて一日学校を休みました。がなんとか元気にやっています。7月の初めに90ccのSUZUKI、Be'lie、の中古を買って、通勤・買物に使っています。3万4千円でした。ヘルメットは6000円。市内の平坦な所ならOKですが、郊外の山の道だとあえぎます。クラッチなし、スピードメーター動かず、もちろん走行距離も不明です。バイクは市民の生活必需品で、いろんな人が走っています。Off Road車もあり、レンタルは1日600円くらいです。ツーリングでもしにきて下さい。
夫をヨロシク頼みます!!
SANDIE THONGKAT

今日の新人組員が



某区役所員 木澤 実
二百一十号



●著者の都合により今号の「草原、遙かなり」は休載させて頂きます。たくさん読者の期待に答える事ができず著者は暇にまかせてせつせとツーリングに出かけております。

うなぎのバイク屋日記

ちよつと前の話になるが、ABS付スクーターDiostの説明会に参加した。まずホンダ二輪中部の会議室にてABSの構造、購入層へのアピール方法等レクチャーを受けた。このDiostの特徴として、実走せずにABS特有のキックバックを体験できるという。これにより、緊急時キックバックに驚いてブレーキレバーを離すのを未だ防ぐことができる。機械に疎いおばさん等に配慮された仕組みになっている。余談だが、この時他機種の販売台数の話が出、CDが何と前年比、40%増、うーん、減価償却なんか遙か昔に終わったモデルだから、ホンダも笑いが止まらんだろうなあ。まあ昨年まで生粋の実用車だったんだから、こんな数字が出るのも当たり前と言えよそれまで。そんなこんなでいよいよ試乗となり駐車場へ。コースコンディションはというと、そりやもうグットなレイン。しかも御丁寧にホースで水を撒いてくれる。おまけにゼブラゾーンラインや、マンホールまで。キックバックモードを体感した後いよいよコースイン。フルスロットルでスタートして、時速80kmあたりからFブレーキだけで一気にフルブレーキが出来る。コケそうで怖い。大丈夫と分かっていても、やっぱり今までの経験からレバーを握り込めんどんです。覚悟を決めて再度トライ。前回と同じスピードから、力と勇気を込めてレバーを握る。ノーズダイブしてフロントに荷重が一気に加わり、タイヤがロックするよーでしない。水溜まりだろうがゼブラゾーンだろうがロックせずに止まるのだ。誰がやってもそうである。もつともさすがに皆、マンホールには乗らなかつたのでそのときはどうなるか分らないが。ABSの次はCBSをテストする。これはRブレーキを握ると、F、Rともにブレーキが効くという仕組みで、この時ももちろんABSは作動する。Rタイヤは一瞬ロックしては回転する、という動作を繰り返す。今後このCBSのみを搭載したモデルをリリースする予定だそう。将来様々なモデルにABS等が付くと思われ、バイクばかり進歩しても肝心の乗り手が進歩しなければならぬ。果たしてそれが今の日本人にできるのだろうか。そう考えさせられた一日であった。

68号うなぎ

今日の「私は誰でしょう?」コーナー



下の写真の中に一人だけ組員がいます。名前と右からおよび左から何番目をみこと当てなうには当新聞社より豪華景品と特製プロイドを差し上げます。あと先は当新聞まで。

組員、相次いで結婚か!

自己満足的な新婚紹介
162号 野口 雅裕
由元 真琴 (24才)
出身地 「私」 広島県倉橋町、福山市を至り木更津市に在住。
結婚式) 11月16日(土) PM3:00
木更津「ロイヤルヒルズ八宝苑」
酒ほおろぐために

やなちゃん婚約!!(仮名)
ファイアンセの名前はともみちゃん。能登出身の敬虔なクリスチャン。来る九月二十八日、飯能の教会にて婚約式がとりおこなわれるそうである。因みに彼女の前で、まだボケはかましていないようである。
幸せいっはい脳いっはい
おらん音頭はひかえめに
おらん音頭はひかえめに



96年、群馬の暑い夏



第52回 組合報告

梅雨も十分開けたこの夏一番暑い日子定通り組合は行われた。

朝、7:00ごろ出発、こんなな早起きしたのだからと思ってるのは私だけのよっだ。

第三歩出口〜環八外回り関越道入口まで渋滞。赤城高原SA着、モトクロスウエアに身を固めた荷崩れ佐藤ニューBAJA、自衛隊北脇スキーDR350と出会う。少し振りに合った北脇氏が言うには、北海道勤務から横須賀勤務に変わったとかで、この高温多



湿の気温になれるのに三年はかかるとさわいでいた。沼田IC出口にてナス青木BAJAピンク色のブラックペアーのモトパンに身を固め現れる。また、この炎天にたえられなくなり公団の木陰の歩道に屯する組長、大工BAJA、地下鉄BAJA、群私金子DLR、パッキン橋本借物ディグリーを見つけた。

歩道に寝る物、朝飯兼用の昼メシを食う者、ひげの者。異様な異曲気。群馬あたりにはこの様な集団は見あたらないうら、通りすがりの少年は組長に「よろしくお願ひします」と訳の分らない挨拶をしていく。組長大いに喜び、しばらくすると、東京北区役所に勤務する木澤さんニューBAJAにて初参加する。みごとにXLRBAJA新日タイプの新揃い。参加者も集合したことだし、そろそろ、1時出発かな?と思っていると、なかなか出発しない。あつーソーミさんがいない、スタッフがいなくてには出発できない。2時ごろになってやっと沢海さん調子の悪そうなセローにて到着。ナチュラリング時代のカメラマン状態、みんなのつめたい言葉を受けている。「沢海さん少しやせたんじやない」とか、「あの、T.H.E.すくろのジャケットはどうしたの」とか?沢海さんには休憩をたえず出発、国道120号線より一本目の林道を走る。なかなか快適なペースで120号線にまた戻り、よろず屋さんに買出しとなる。一人一人が買物カゴに入れていく。スーパーの品物というものは3〜4人用でワンパックになっているため、11人が買って気ままに買物をすると×3倍の買物をしたことになる。

このよろず屋さんではアルコールは売切れ次のよろず屋へとよろず屋のハシゴをする。個々でガソリンのチャージ、水、アルコールを仕入れる。ここで気がついたことだがなぜか氷を買っている人がいる。なんとソフトタイプのアイスボックスをもっており、ビールや生の物を入れていた。うーんこのこだわりはおもしろい。

全員パッキン(だいたいの人はリュック背負う)をおえて出発、利根村界隈の林道に入る。

しばらく走るとお約束の林道閉鎖3点や2点セットあらわれる。

ゲート脇左手のトライアルコースへとチャットレンジすることになる。組長はすんなりクリアー減点0。次から次へとチャットレンジ。足の長さに物言わせるもの減点5。皆ギンチャクしている様子。その時、やってくれました。寺崎組の一番のムードメーカーよつばらい金子氏みごと転倒、やんややんやの喝采。最後尾の沢海さんの番、セッシヨン最上段にてエンストおみごとパキクオーライ。全員通過したところで出発。ビールが肩に食い込んで走りにくい。林道走行の雰囲気は次のとおり。

組長、区役所、よぼらい、パッキン自衛隊、荷崩れの6人で特別速いグループ。ナス、フレックス、大工、地下鉄、しんがりに沢海さんの5人はミヨに遅いグループと2チームできてしまふ。早いグループが途中で待たせていても、ミヨに遅いグループはやっぱり遅い。

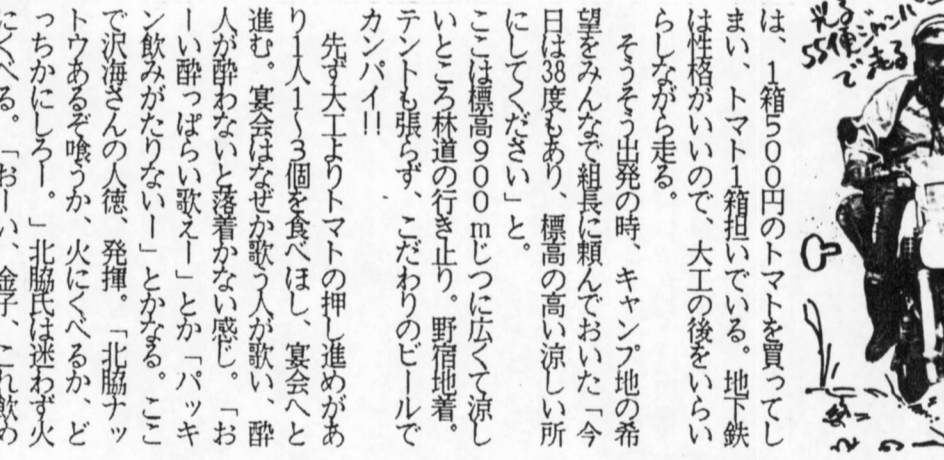
そつそつ組長が言っていた「おれはビールをたくさん飲んで走れる人が好きだ」と。寺崎組とは、林道が早く走れる人よりも、リュックの中のビールの分量が大事なのだ。

ミヨに遅いグループにはそれぞれに言訳がある。ナス青木は、カミささんがわいらしい。早そうで遅い大工

先ず大工よりマトの押し進めがあり1人1〜3個を食べ、ほし、宴会へと進む。宴会はなぜか歌う人が歌い、酔人が酔わないと落着かない感じ。「おっい酔ったらい歌え」とか「パッキン飲みがたらない」とかなる。ここで沢海さんの人徳、発揮。「北脇ナツトウあるぞ喰うか、火にくべるか、どつちかにしろ。」北脇氏は迷わず火にくべる。「おっい、金子、これ飲め」とかいよいよ、ゲイゲイ、ラッキョの汁入りアルコールでした。

そして、翌朝、朝食、世間での〇ー157のうわさに影響を受けた我々は賞味期限をぴつと眺め、「これ喰ったという方にいいな」「あれも喰った」というように、山のように買った食糧を調理する「米は炊きな」「らいめんは禁止」というふうに豪快な食事を取り出す。

ミヨに遅いグループはより遅く、早いグループは早く走り、林道をぬけ国道122号線渋滞のよろず屋にて昼食を買いたし、草木湖界隈の小川にて昼食。この時、寺崎氏による組員の明日の予定チェック、「連泊するもの手を上げよう」一同「シーン」ここで勇氣ある、地下鉄、自衛隊、沢海さんが名のりをあげ、次のキャンプ地へ進むこととなった。



隣部の部屋には、きれいに洗濯物が干されていた。古い木の勉強机の上には無線機各種。書棚には鉄道オタク業界の月刊誌がズラズラと十数年分。というわけで、その日押しかけた沢海氏と私は当然のごとく酒を飲み泊まる事になったのである。朝もまた当然のごとく金子氏は焼酎をグビグビ。会社においた電話を入れる金子氏を後に、そのおーと群馬県太田市を離れる私だっただのである。(組長記)

組長のお宅拝見

127号金子 徹の巻

太田市の静かな中心街を抜け北西方面に向かうと、こんなもりとした林が点在とある。何たらの古墳群らしい。そこがまさしく金子氏が住む町だったのだ。

前も後も畑の中、ポツツンと二階建てのアパートがあった。一階のベランダの前に汚いシートがかかった汚いバイクがゴロゴロしている。すぐに氏の部屋は分る。表の壁はクリム色で、ごく普通のアパートに見えるがしかし、裏の入口に回ってギョッ。アパートの改装を頼まれたペンキ屋が余ったペンキを使ったとか思えない真緑色に塗られていた。目が眩しい。群馬県らしいと言えば群馬県らしい。金子氏らしいと言えば金子氏らしい。金子氏といえ、汚いとか臭いとかパッキンに穴が開いているとか鼻ジュッシュをいつも掛けているというようないイメージしか持っていない人も多いと思う。本人は「きれいだろ?」とすよ、こう見えても」とか「東京23区内生れなんですよ、こう見えても」とか言っているけれど、その外見からはにわかに信じてない。

緑色の玄関から飾々と中を覗く。おーっ。美しい。きれい。実際に見るまで信じようとしたな。私のであるがその現実からは逃れようもない。かたがずいているのだ。小さいながらも、気配の床が見える。隅に掃除機も。換気扇には油よけのシート。冷蔵庫にはモンキーバナナのようになった黒いバナナも入っていない。西洋式便所にはちじれた毛もウンコのカスもはりついている。何と全自動洗濯機の回りにはない。何と全自動洗濯機の回りにはない。風呂場にはカビひとつなく、スノコも座り桶もなかった。

次に居間へと御案内しよう。量が見えてくる。テレビもステレオも旧式だが大切に使用しているのがよく分る。ちなみに中島みゆきのCDは全体の半分以上ではなく4分の1程度であった。ガラスケースの中に旧日本軍の戦闘機のプラモデルや鉄道模型。技術家庭の実習で作ったと思われる何かのスタンディングには何故かバイクのバックミラーが取り付けられている。押入れの中には小学校の時使っていたグローブ、電話の脇には鼻ジュッシュが仲良く3本並んでいた。

関越自動車道、本庄原玉ICに向かう帰宅の道中、考えてみたが、群馬県というのは北関東に属しながら山も深く林道でのゲートの距離も十分長く、オフロダーにとりて楽園といって良いところかもしれないと思いつつ帰宅した。

記 フレックス河原田

「原宿桐十人」募券集の

お知りませし
良い子も悪い子も寺崎組もその子備軍も自分らしさを原稿で写真でマンガで自分だけの表現でしてみませんか?
送り先は左記

新聞講読料振り込み先

郵便貯金
記号
番号
氏名
住所

寺崎 勉
〒
東京都国分寺市東元町
スタジオエッグ寺崎組
組新聞講読料/年間 二千円以上

平成八年度寺崎組宴会会地

塾 九月二日正午集令
恵那市中央本線東那駅南口
塾 十一月三十三日正午より
山梨県大和村湯の沢峠から黒岳方面へ登山
塾 十一月二日正午より
山梨県南那小武林道青木鉾泉分岐近く
塾 二月八日正午集令
静岡県富士宮市身延線富士宮駅北口

